

校長室だより

うんとこしょ
どっこいしょ

第99号 令和6年12月17日

渋谷区立原宿外苑中学校長 駒崎 彰一

漢検 日本漢字能力検定

×



青山学院大学
AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

AG
150

×



渋谷区立原宿外苑中学校
Hachikō Junior High School in Shibuya City

自己PR文で知らない人に自分を伝えるスキルを育成する

『自己PR文』とは、顔も知らない相手に自分のことを文章でアピールする手段の一つです。高校入試では、都立高校の推薦入試において、中学校生活の中で得たことを『自己PRカード』で表現する必要があります。私立高校の推薦入試でも、同様の内容で作文課題のある学校が多くなっています。実際の入試では、この『自己PR文』をベースにして面接試験が行われます。

そこで本日の午後の授業で3年生が漢字能力検定協会と青山学院大学にて共同研究中の「AIツール」を使って、仲間と collaboration しながら、よりよい『自己PR文』を作成することに挑戦しました。

「AIツール」は、自分で考えて、自分の言葉で表現するための、あくまで「サポートツール」です。

AIだけに頼ってコピペして完成した『自己PR文』では・・・面接で言葉に詰まったり、自分が何を書いたか分からなくなったり、困ってしまうはずです。

そこで今回の授業では、「AIツール」によってつくられた文は、デジタルワークシートに一度コピペして記録し、仲間と対話しながら自分らしい文章づくりを進めていきます。

本日の取組

1. がんばったことを思い出します
2. エピソードを3つ選び、その中から1つに絞っていきます
3. 選んだエピソードを深掘りしていきます
4. 「自己PR文」を書きます
5. 書いた文章を見直し、書き直して完成させます





今日の活動を通して、3年間で得た自分の強みストロングポイントを再発見するとともに、相手に自分のことを自分らしい文章でアピールするために・・・
どのように書けばよいのか学ぶことができたでしょうか？